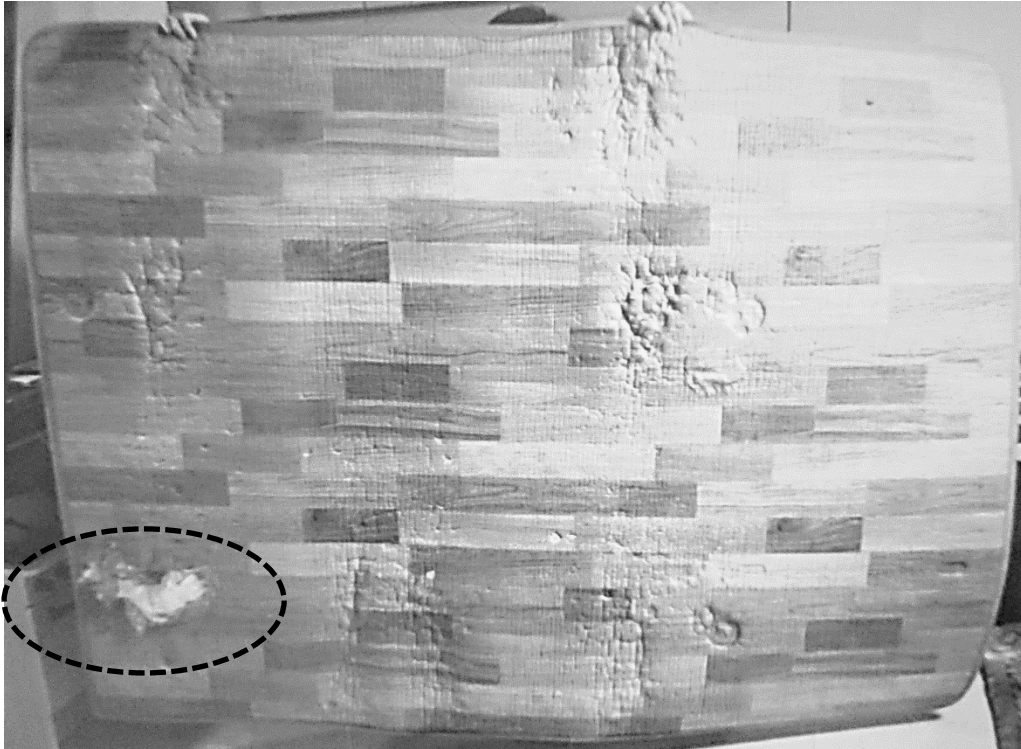


Injury Alert (傷害速報)類似事例

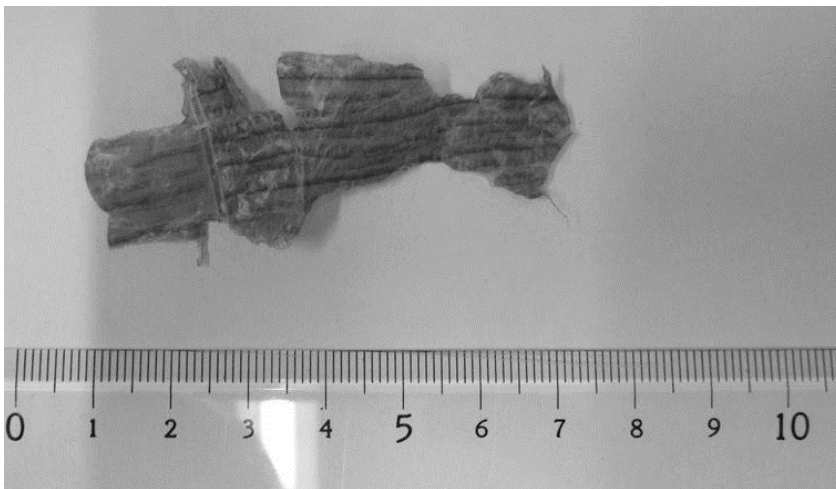
プレイマットの誤飲による咽頭異物

(No.55 プラスチック製シールの誤飲による咽頭異物の類似事例 7)

事例	基本情報	年齢：0歳6か月 性別：女児 体重：7kg 身長：不明
	家族構成	父母・兄（4歳）
	発達・既往歴	右臼蓋形成不全でフォローのみ・発達良好：座位可能
臨床診断名		窒息
医療費		外来 4,460円
原因対象	対象名称	ベビープレイマット（200×150×厚1cm ポリエチレン）
	入手経路 使用状況	新品で購入（入手時期不明）・ダイニングテーブルの下に常時敷いて使用していた。破損した部位は、普段椅子の足があたっているところであった。プレイマットは、今回の事例が発生する以前から少し破損しており、親はそれに気づいていた。 ホームページのレビューには、家具の下に置くと破損しやすい、と記載があった。
発生状況	発生場所	自宅のダイニング
	周囲の人 周囲の環境	父母・兄（4歳）がダイニングテーブルに食事をしていた。
	発生年月日	2020年11月X日（日）午前10時00分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	午前10時ごろ、父母と兄がダイニングテーブルで朝食をとっていた。本児はテーブルの下でずりばいをし、一人で遊んでいた。急に本児が咳き込んだため、父が抱き上げると、えずく様子で口から泡を出し始めたため救急要請した。母が本児を下向きにして背中を叩き、本児の口の中に指を入れて引っ張るとビニール製のマットの一部が出てきた。その後、児は普段通りに啼泣し、以降は落ち着いた様子であった。救急車にて医療機関へ搬送された。父母の話では、終始顔は赤く、えずくような様子はあったが呼吸は止まっておらず、意識消失もなかった、とのことであった。
医療機関受診時 以降の治療経過 転帰		受診時、呼吸状態は安定しており、機嫌も良好であった。診察上も特に異常を認めなかった。哺乳も良好であり帰宅とした。合併症や後遺症は認めていない。



【図1】 マットの全体像 ○は破損部位



【図2】 口腔内から取り出した破片